



美瑛町そだちの教室通信
7月号
2020年6月24日



日差しに夏を感じる季節となりました。学校も通常日課となり、少しずつ日常を取り戻しつつあります。学校にも子どもたちの元気な声が響き渡っています。

そだちの教室では1年生の通級もスタートし、ようやく軌道に乗ってきたところです。

毎回の指導の内容については、黄色のA5サイズのファイルに記載しています。詳細については次回の面談の際にお伝えしたいと予定していますが、どのようなことに取り組んでいるかをその日のうちにお伝えできるようにしています。是非、内容をご確認ください。(サインもお願いします)また、通級の際には忘れず持参するようお子さんへの声かけもお願いいたします。

美瑛町ことばを育てる親の会のお誘い

美瑛町ことばを育てる親の会から、そだちの教室通級児の保護者の皆様にも入会のご案内が届いています。ことばの教室に通級している保護者の方々の連携機関として発足したことばを育てる親の会では、子育てに悩む保護者の方々向けに年に数回の研修会や学習会、親子のレクリエーション等企画されています。詳細は別紙の案内文書をご覧ください。また、申し込み希望の方はそだちの教室(大西)まで年会費(1口 500円)を添えてお申し込みください。なお、親の会についての詳細が知りたい場合は、美瑛町ことばの教室(電話92-4196直通)の伊山先生までお問い合わせください。

1学期の通級終了について。

新型コロナ感染拡大防止の臨時休業によって、1学期の終業式が全町的に8月7日となりました。それに伴い、そだちの教室の通級終了は7月31日(金)となります。どうぞよろしくお願いいたします。

7月

さんの通級予定 日程表※色のついている日が通級日です。

月	火	水	木	金
		1	2	3
6	7	8	9	10 東小全校参観日 (2校時休室)
13	14	15	16	17
20	21	22	23 海の日 (休室)	24 スポーツの日 (休室)
27	28	29	30 研修会のため午 後休室	31 1学期通級終了

「そだちの教室ってどんなことするの？」④

先月号では、読みの指導に関わる「MIM」について紹介しました。

7月号では、漢字について紹介していきます。

保護者の方々との教育相談の中で、「漢字がなかなか覚えられなくて困っています…」というお話をよく耳にします。(中には、平仮名よりも漢字の習得の方が早いお子さんもいますが…)漢字が覚えられない、書けない要因は、子どもたちの努力が足りないからではありません。また、漢字が覚えられない原因は1つだけとは限りません。

漢字を覚える要素には「形」「読み方」「意味」の3つがあり、この三要素を関連付けて漢字を覚えられるかがポイントになってきます。形は覚えていても読み方が分からなければ漢字は書けません。(テストで書けません)。形は覚えていても意味が分からなければ、実際の場面では使えません。形を覚えていなければ、読むことも書くこともできません。しかし、形を覚えることだけで漢字を書いたり使ったり、読んだりではできないのです。「形」「読み」「意味」の関連付けが漢字を覚えて使うためには大変重要なことなのです。

☆形を覚えられない要因

→視覚的な情報を処理する力が弱く、細かい部分をとらえることを苦手としている可能性があります。

☆読みが形と結びつかない

→漢字の練習の際に、常に読みを意識していないため、ただ形の練習のみになっている可能性があります。

以下に、そだちの教室で行っている漢字の練習法を紹介します。

漢字とイラストのマッチング



授業では、漢字の形や筆順を覚えてから、読み方や使い方を練習することが多いのですが、ここではイラストから意味を考え、読

みを想起してから、字形を覚えるという順序で学習します。意味優先型の練習法です。

漢字の部首カルタ



漢字の意味理解の手がかりになる部首の意味学習を先に行う方法です。「さんずい」の付く漢字は、水に関係する漢字の

集合体です。部首を想起することを手がかりに習得していく方法です。

漢字の一画一画を理解します。



漢字のほとんどは、十種類の画で書くことができます。書くことの困難さや、線の交わり方が見えづらい子には、パーツを

組み立てることで漢字を完成することができるように、段階的な練習を行っていきます。

唱え歌（語呂合わせ）で覚える方法



漢字九九（語呂合わせ）を唱えることで、聴覚から漢字の書き方や形がわかる仕組みになっています。また、唱え歌にマッチしたイラストが描かれているため、視覚的な手がかりで漢字を想起しやすいよう

にも工夫されています。